第１号議案

令和元年度　事業報告(案)・決算報告(案)

自　平成 31 年　4 月　1 日
至　令和 2 年　3 月　31 日

令和 2 年 6 月 12 日（金）

ＮＰＯ法人 川に学ぶ体験活動協議会

１．総括

写真 1. 浜松河川事務所事業風景

平成12年9月に当法人の前身となる協議会が設立されてから今年で20年目を迎え、一昨年に第20回日本水大賞の「大賞」（名誉総裁：秋篠宮殿下）を受賞し、大賞受賞の記念の取組を展開することができた。

また、昨年に引き続き見附市教育委員会主催による 3 校での防災教育スクール開催への協力のほか、九州地方や関東地方等での「子どもの水辺安全教室」等の水難事故防止関連講習及び河川管理者や事業者向けの安全講習を全国 7 箇所の直轄河川にて展開することができた。そして、川育ライフジャケットの普及をはじめとした、安全資機材のツールの普及活動も少しずつ社会的に認知されるようになってきた。防災ツールとして公的機関で活用されている E ボートについても、日本国内での販売普及を担えるようになってきている。しかし、川の指導者の地域的な偏在、指導者登録者数の逓減傾向、高齢化等に対して、引き続き多くの方々の知恵や協力を必要としているのも事実である。

一方で年度末に社会問題化してきた新型コロナウィルス感染拡大の影響により、これまでと同じような取組からの大変革を余儀なくされている。

総括すると、ＲＡＣがこれまで取り組んできた成果が、仕組みとして定着しつつある一方で、新型コロナウィルス禍及びポストコロナ社会を見据えた組織の在り方について、川の関係者と共に考えることが極めて重要な局面を迎える時期になっている。

（1） 会員の入会状況

種別 ＼ 会員区分	団　体		個　人	
	H30	R1	H30	R1
正会員	７５	７０	1	1
一般会員	３０	２９	1	2
賛助会員			1	0
計	１０５	９９	3	3

（３月３１日現在）

２．会議

（1）理事会　―　平成 30 年度の活動報告・会計報告、平成 31 年度の活動計画・収支予算等について審議の上議決した。

[開催日時]　令和元年 5 月 25 日（土） 13：30～14：30

[開催場所]　国立立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）

（2）総　会　―　平成 30 年度の活動報告・会計報告、平成 31 年度の活動計画、収支予算等についての報告及び役員の選任を議決した。

[開催日時]　令和元年 5 月 25 日（土） 15：00～17：00

[開催場所]　国立立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）

（3）常任理事会　―　業務執行に関する検討や講座及び資格の認定審査を行った他、下記の日程で業務進捗状況、財政状況の確認等を行った。

[実 施 日]　第1回　平成31年 4月26日　　第2回　令和元年5月25日
第3回　令和元年6月 27日　　第4回　令和元年8月 29日
第5回　令和元年9月14日　　第6回　令和元年10月29日
第7回　令和元年12月3日　　第8回　令和2年1月21日
第9回　令和2年3月24日

[場　　所]　河川財団会議室（東京）他

（4）専門部会・委員会

下記の専門部会ごとに主な事業を推進した。

① 企画総務部会

今年は滝川での第19回川に学ぶ体験活動全国大会 in 石狩川でのサポートを行った。170名の参加者があり盛会であった。また、地域ミーティングについては福岡県と岐阜県2か所で開催することができた。20周年記念の冊子づくりについては概要については概ねの検討は終わったが、まだ更なる検討が必要である。RAC フォーラムについても準備を行ってきたが、今回の新型コロナウィルス感染のために中止になった。

② 人材育成部会

理事会総会後の 5 月にトレーナー研修会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、5名の新トレーナーが誕生した。トレーナー研修会については昨年に続いての開催である。今後もトレーナー研修会を開催して、各地域にトレーナーが配置できるようにしたい。しかしながら、付加資格の専門家育成講座は開催できていない、また、RAC 指導者講習のプログラムの検討も行われていないので今後に向けて検討が急務である。

③ 学校連携部会

今年度は九州での地域ミーティングで学校連携コーディネーター講座（基礎講座）を開催した。

学校リーダー講座を含めて、学校との連携についてはもっと、各地域の指導者と連携をして今後、講座開催に向けて企画調整を行っていく。

④ 組織強化部会

今年度については来年、全国大会を開催予定の青森県三沢市の高瀬川河川事務所に行き、講座開催のお願いと青森県では川の指導者が少ないので地域での川の講習会などについての開催の営業を行った。

また、過疎地域である四国にも整備局などに出向き、講座開催などについての営業を行った。

（５）専門委員会

① 審査認定委員会

・講座開催審査や支援条件整理、指導者修了確認・認定等を行った。

② 安全対策委員会

・水辺体験活動での事故等の発生防止に向けて講座等の実施体制等を注視した。

③ RAC20 周年記念冊子作成委員会が立ち上がり、イベントや冊子作りなど検討を行った。今年度の地域イベントは 10 月に北九州の紫川、3 月に岐阜県の長良川で開催された。

３．川の指導者養成等

RAC アシスタントリーダー養成講座が開始されてから 5 年が過ぎた。今年は 10 講座開催されたが、全体的に講座の開催及び指導者の登録数が逓減傾向にある。その為に全国の川の楽しさや身の守り方を伝える川の指導者の減少につながる。川の指導者数を増やすことが課題であるが、そのテコ入れは急務である

写真 2.「アシスタントリーダー講座（埼玉県荒川）」

【各種講座開催及び修了状況】

種別 / 年度	RAC アシスタントリーダー（基礎講座）		RAC 学校リーダー※1		リーダー		インストラクター（Ⅰ）		コーディネーター（インストラクターⅡ）		トレーナー	
	講座数	修了者数	講座数	修了者数	講座数	修了者数	講座数	修了者数	講座数	修了者数	講座数	修了者数
H13	(12)	(966)			5	52						
H14	(3)	(83)			15	528	5	126			暫定	24
H15	(4)	(10)			24	446	3	52			1	17
H16	(1)	(14)			26	387	3	32			2	16
H17	(0)	(0)			27	266	3	25			1	14
H18	(2)	(49)			27	207	3	22	1	4	1	9
H19	(6)	(141)			25	376						
H20	(3)	(38)			26	319	2					
H21	(4)	(22)			33	334	4	48				
H22	(1)	(12)			35	338	2	22	2	6	1	6
H23	(0)	(0)			33	287	5	43			1	4
H24	(3)	(26)			26	234	3	12	1	7	1	4
H25	1	7			18	168					1	1
H26	2	25	3	25	14	131			2	10	1	2
H27	5	85	1	10	16	124					1	6
H28	7	78			14	127						
H29	13	85	1	13	13	108	1	2				
H30	10	56	1	0	13	105	0	0	0	0	1	5
R1	10	70	0	0	14	86	0	0	0	0	1	5
計	**87**	**1767**	**6**	**48**	**404**	**4623**	**34**	**384**	**6**	**27**	**13**	**113**

※1 RAC アシスタントリーダーは H25 までは基礎講座の講座数及び修了者

各指導者養成団体で必要とされる川の指導者の養成講座を、全国各地の河川において展開した。ＲＡＣリーダー養成講座については全国各地で１４講座開催した。また､アシスタントリーダーについては１０講座開催した。

写真 3.「リーダー講座（福井県日野川）」

（２）付加資格関連講座・専任講師養成講座の展開

水辺のリスクマネジメント講座（1 回)、及び水辺のレスキュー講習（3 回)、Ｅボート指導者講習（3 回）を開催した。また、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターでトレーナー研修会を開催し、5 名の新しいトレーナーが誕生した。

【付加資格講座開催一覧】

種別 / 年度	水辺のリスクマネジメント講座		水辺のリスクマネジメント専任講師養成		水辺のレスキュー講習		水辺のレスキュー専任講師養成		Eボート指導者		Eボート指導者専任講師養成	
	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者
H20	10	180	4	67								
H21	6	64			3	18	5	24	3	36	4	27
H22	2	28			3	16			3	26		
H23	4	51			8	77	1	3	6	68	1	3
H24	3	31			5	29			9	90	3	9
H25	4	42			5	41			11	115	2	10
H26	4	18			2	27			8	71		
H27	2	11			1	12			14	84		
H28	3	21			1	16	2		6	38		
H29	1	21			2	31	3	16	5	41		
H30	2	19			1	11			4	23		
R1	1	6			3	23			3	16		
計	41	492	4	67	34	301	11	43	72	608	10	49

種別 / 年度	水辺のファーストエイド講習		水辺のファーストエイド講習専任講師養成		RAC 水辺の生き物講習会		学校連携コーディネーター養成講座					
							（基礎課程））		（応用課程）		（専修課程）	
	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者	講座数	修了者
H20												
H21												
H22												
H23												
H24	1	15	1	(11)								
H25	4	42			1	3	1	16	1	9		
H26	3		1				3	34				
H27	1	20					1	10	1	3		
H28							1	7			1	3
H29					1	2	1	4				
H30							1	5				
R1							1	2				
計	9	77	2	(11)	2	5	9	78	2	※12	1	3

※修了実習待ち含む。

４．全国大会等

（１）第１９回川に学ぶ体験活動全国大会 in 石狩川

□　日　時：令和元年 9 月 14 日（土）～15 日（日）
□　会　場：北海道　滝川市　ホテルスエヒロ
□　主　催：川に学ぶ体験活動全国大会 in 石狩川実行委員会
□　参加者：約 170 名
□　今年は北海道滝川市で「川との多様なかかわり／未来につなぐ河川文化の創造」をテーマに開催された。今年は基調提言と言うことで事務局長からの滝川大会の意義について説明を行った。その後、実行委員長のご挨拶からはじまり、副実行委員長、滝川市長、国土交通省の方の祝辞などで始まった。

基調講演についてはお天気キャスターの森田正光氏をお招きして、お天気から見た地球温暖化や生物についてなどいろいろなお話しをしていただいた。ウェザーマップのキャスター3 名にもお越しいただいた。

事例発表では地元の高校生や北海道で活動している 5 団体、また、全国で活動をしている 2 団体が発表を行った。3 分科会は「川に学ぶとは・・・」「未来の河川環境」「身近な防災活動」の三つのテーマで開催された。それぞれの分科会では話題提供者がおり、最後の全体会では参加者全員で共有を行った。

次回の全国大会の開催地青森県小川原湖の案内がされて一日目は終了した。交流会では地ビールで乾杯後、地域の食材を楽しんだ。また、今年はライフジャケット 100 着を(株)クリアウォーターカヤックスから滝川市に寄贈された。

翌日のエクスカーションについてもお天気が良く、参加者一同わくわくで参加していた。

写真 4.全国大会開会式風景

写真 5.ライフジャケット寄贈

（２）RAC フォーラム

令和 2 年 2 月 29 日（土）の開催予定をしていたが、新型コロナウィルス感染拡大のためにやむなく中止した。

５．調査検討事業

（１）調査検討業務

写真 6.「リーダー講座（京都府由良川）」

写真 7.「リーダー講座（埼玉県荒川）」

①川の指導者養成事業の実践支援及び水辺のひやりはっと検討業務

・今年は各講座を開催した団体の受講者から「ひやりはっと」を収集した。「ひやりはっと」を貰う事でさらにひやりはっとの事例を収集し整理をした、水辺における体験活動拡大の一助となる検討を行った。また、今年は「ひやりはっと」を受講者から収集することでリーダー講座の資料代を無料にした。リーダー講座 6、アシスタントリーダー講座 1 開催した。

②各河川事務所からの受託事業について

今年は八代河川国道事務所の事業で球磨川の水浴場及び小学生対象の上下流交流授業、RAC アシスタントリーダー講座、山口河川国道事務所や信濃川下流河川事務所等からの受託事業等で「子ども水辺安全講座」、信濃川下流河川事務所の事業では河川管理者及び事業者を対象として安全講座を行った。今年度は甲府河川国道事務所、浜松河川国道事務所及び千曲川河川事務所からの依頼で講座の開催を行った。

【令和元年度国土交通省受託事業一覧】

No	委託者	内容	場所	河川名
1	信濃川下流河川事務所	河川水難事故防止に関する講習会外運営業務	新潟市・三條市	信濃川
2	八代河川国道事務所	球磨川水辺交流活動の運営	八代市	球磨川
3	山口河川国道事務所	佐波川子ども水辺安全講座	山口県	佐波川
4	浜松河川国道事務所	ライフジャケット体験会	静岡県	天竜川
5	千曲川河川事務所	千曲川河川水難事故防止に関する講習会外運営業務	長野県	千曲川
6	甲府河川国道事務所	R1 富士川に学ぶ体験学習運営	山梨県	富士川

写真 8.「水生生物調査（富士川）」

写真 9.「ライフジャケット体験（天竜川）」

写真 10.「水難事故防止講座（信濃川）」

写真 11.「子ども水辺安全講座（佐波川）」

（２）川育関連事業

① 防災教育スクール in みつけ

今年は少し暑さが和らいでいることもあり、すべての学校で大平森林公園及び学校のプールを使った水難事故防災訓練を行う事が出来た。昨年同様に身近なものでつくる防災グッズについては子どもたちが大変興味を持ち、1 人でスリッパやお皿などたくさん作っていた。7 月中の防災スクールだったために学校のプールを使うことができ、ライフジャケットを着ての浮遊体験もできた。

写真 12.「防災スクール（今町小学校）」

写真 13.「防災スクール（見附小学校）」

NO	学校名	開催期間	参加者
1	新潟県見附市立　見附小学校	8 月 1 日～2 日	4 年生児童　96 名
2	新潟県見附市立　今町小学校	7 月 29 日～30 日	4 年生児童　79 名
3	新潟県見附市立　名木野小学校	7 月 30 日～31 日	5 年生児童　64 名

6．広報・普及活動

（1）川育ライフジャケット認定制度の普及

これまで我が国には「川遊び用のライフジャケットとして推奨できる安全基準」や「試験・認定制度」が存在していなかったが、RAC では「川という自然環境下での体験活動に適した安全基準として、「RAC 川育ライフジャケット認定ガイドライン」を平成 30 年度関係各機関の協力のもと構築した。令和 2 年 3 月現在、12 種類の製品が認定を受け、水辺シーズンを中心に全国各地の大型スポーツ用品店や、ホームセンター等で提供が継続している。

[RAC 認定マーク]

（2）全国一斉 1 万人・川の流れ体験キャンペーン

子どもまたは親子向けにライフジャケット等、川での安全を学習し、楽しさの中で自ら川をきれいにしたいという思いを育てることなどを狙いとして、全国 5 箇所で川の流れ体験キャンペーンを開催した。全国では延べ〇〇人の方々の参加があった。当活動のスタッフとなった指導者には昨年同様ピンバッジを配った。

写真 14.「川の流れ体験 in 紫川」

写真 15.「川の流れ体験 in 仁淀川」

（3）広報活動

・メールマガジン「ＲＡＣ-ＮＥＷＳ」を随時回発行した。また、Facebook なども活用して情報発信を行った。

・RAC ホームページを随時更新した。

（総閲覧者数 181,606view／H29.5.24 より 17,489view 増加　R01.5.22 現在）

（4）川の指導者の道具

より安全な水辺の体験活動を普及するために、川遊びに特化して開発したライフジャケットの普及を行った。また、昨年からグラブナー社の E ボートの販売も開始(仕様、価格は RAC ホームページに掲載)。

レンタル業務では、小貝川生き生きクラブ（管理：公財ハーモニィセンター）のほか、リバーパーク鯰の学校（管理：NPO 法人みずのとらベル隊）の協力により、各地の安全な活動へ貢献した。

なお、レンタル機材の保有数及び、当年度のレンタル状況については下記の通りである。

【RAC 機材一覧】

No.	資機材名	数	単位	備考
1	ライフジャケット（幼児用）	30	着	
2	ライフジャケット（低学年用）	132	着	今年度 50 着購入
3	ライフジャケット（子ども用）	543	着	
4	ライフジャケット（大人用）	202	着	
5	ライフジャケット（プロ用）	14	着	
6	ヘルメット（子ども用）	95	個	
7	ヘルメット（大人用）	132	個	
8	スローロープ（15m）	12	本	
9	スローロープ（20m）	23	本	
１０	E ボート	11	艇	グラブナー社 G タイプ
１１	ポンプ	16	個	
１２	パドル	110	本	一部スチール
１３	ウエットスーツ	70	着	

【R1 レンタル状況】

ＰＦＤ	ヘルメット	スローバック	E ボート
1627	420	90	11

※自主事業利用含

（5）Ｅボート販売について

オーストリアのグラブナー社からＥボートを直接仕入れることができるようになり、今までより諸々に融通が利くようになった。色についても変更を行った。今までは座席が黒だったことで夏場はとても暑くて座ることができなかったが、今回は赤にして少しでも熱を逃がせるようにした。また、ＲＡＣマークをＥボートに付けた。メンテナンスについても本場オーストリアのグラブナー社に行き、担当の人から直伝のメンテナンスを学んだ。

写真 16. Ｅボートロゴ

写真 17. 新Ｅボート全景

７．その他

（１）水辺体験イベント等

今年も、山梨県笛吹市でのミズベリングイベントなど、自治体等の展開する各地域の事業へ指導者の派遣や運営協力を行った。

写真 18.「E ボート大会　かすみがうら市」

写真 19.「夏休み、川遊び体験！（笛吹川）」

【RAC 指導者等講座開催状況】

No	内　　容	依頼元	活動河川
1	RAC アシスタントリーダー講座	茨城県かすみがうら市	霞ヶ浦
2	子ども水辺安全講座（ミズベリング事業）	山梨県笛吹市	笛吹川

（２）河川協力団体

・荒川下流河川事務所・利根川下流河川事務所の河川協力団体関連事業として、荒川（旧中川）では E ボートクルーズの運行、また、利根川下流域（小見川）では佐原でのＥボートレースの安全講習や運営協力を行った。

2019年度RAC講座一覧

□ RACアシスタントリーダー講座

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-AL-01	公益財団法人　河川財団	菅原　一成	2019年6月14日	荒川・長瀞周辺	都内会議室、「長瀞荘」会議室、荒川・長瀞周辺、日本橋消防署等	9	
2019-AL-03	NPO法人どんころ野外学校	野々山裕子	2019年6月29日	石狩川	旭川公園緑地協会　別棟	14	
2019-AL-04	NPO法人エヌエスネット	北川健司	2019年6月10日	祝川	紀北町町民センター	0	
2019-AL-05	NPO法人みずのとらBELL隊	衣川圭太	2019年7月1日～2日	小森川	地域交流センター　ごちゃまぜ	16	
2019-AL-06	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	内村　政彦	2019年7月28日／11月3日	紫川水系紫川	北九州市 水環境館	2	
2019-AL-07	仁淀川清流保全推進協議会	遠近　知代	2019年7月25日	仁淀川	土佐合同庁舎2階会議室	10	
2019-AL-08	NPO法人どんころ野外学校	新野　和也	2019年7月21日	頓別川	NPO法人　モモンガくらぶ・登別市ネイチャーセンター「ふぉれすと鉱山」	16	
2019-AL-09	NPO法人帯広NPO28サポートセンター	千葉利光	2019年8月2日	札内川	エールセンター十勝	0	報告待ち
2019-AL-10	NPO法人帯広NPO28サポートセンター	千葉利光	2019年8月5日	札内川	エールセンター十勝	0	報告待ち
2019-AL-11	NPO法人川に学ぶ体験活動協議会	大井里美	2019年7月25日	球磨川	道の駅「さかもと」	3	
						70	

□ RACリーダー養成講座

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-B-01	栃木カヤックセンター	佐々木慎一	2019年4月10日～7月17日	那珂川・武茂川	栃木県立馬頭高等学校	5	
2019-B-02	RACファンクラブ	橘　昌憲	2019年4月27日～29日	那珂川、小貝川	小貝川生き生きクラブ	3	
2019-B-03	ゴーネイチャー	田中清也	2019年6月8日・9日・15日　各日9:00～17:00	菊池川	水辺の学習館　ゆめほたる	5	
2019-B-04	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	砂田絵里	2019年6月22日～23日、7月7日	紫川水系紫川、遠賀川水系頓田貯水池	北九市立玄海青年の家、かぐめよし少年自然の家	5	
2019-B-06	公益財団法人　河川財団	菅原　一成	2019年5月24日、6月14・15・21日	荒川・長瀞周辺	荒川・長瀞周辺ほか	4	
2019-B-07	一般社団法人 環境文化研究所	田中謙次	2019年6月2日、8日、9日	日野川	一般社団法人 環境文化研究所	7	
2019-B-08	公益財団法人　河川財団	井上　勇樹	2019年6月8・9・22・29日、7月13日	淀川水系淀川および木津川	淀川管内河川レンジャー　中央流域センター	24	
2019-B-09	NPO法人どんころ野外学校	野々山裕子	2019年6月29日・30日	石狩川	公益財団法人 旭川市公園緑地協会　別棟	0	

2019年度RAC講座一覧

2019-B-10	NPO法人芦生自然学校	岡　佑平	2019年6月23日、7月6・7日	由良川	芦生自然学校キャンプ場	8	
2019-B-11	NPO法人長良川環境レンジャー協会	名和　あけみ	2019年6月30日、7月7日、14日	木曽川水系長良川	岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス	13	
2019-B-12	NPO法人鶴見川流域ネットワーキング	中原　優人	2019年9月4～6日	鶴見川	和光大学	3	
2019-B-13	一般社団法人いわて流域ネットワーキング	菊池　拓巳	2019年9月14日～16日	胆沢川	奥州湖交流館	3	
2019-B-14	利根川の魅力を育む会	田島洋輔	2019年10月22日、11月4日、9日	思川および渡良瀬遊水地	小山市役所	0	延期
2019-B-15	カワラバン	菅原正徳	2019年10月17日、24日　11月10日、17日	名取川水系広瀬川	ろりぽっぷ学園	6	
						86	

□　Eボート指導者講習会

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-E-01	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	砂田　絵里	2019年4月20日（土）	厚東川水系小野湖	宇部市立アクトビレッジおの	7	
2019-E-02	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	砂田　絵里	2019年7月7日	遠賀川水系頓田貯水池	北九州市立玄海青年の家	4	
2019-E-03	公益財団法人　河川財団	菅原　一成	2019年7月17日（水）	渡良瀬遊水地	体験活動センター　わたらせ	5	
						16	

□　RAC学校連携コーディネーター講座（基礎講座）

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-GA-01	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	内村　政彦	2019/11/17		北九州市 水環境館	2	条件付き
						2	

□　RACリスクマネジメント講座

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-M-01	公益財団法人　河川財団・近畿事務所	中西　史尚	2019年9月18日	瀬田川	水のめぐみ館　ウォーターステーション琵琶	6	
						6	

□　RACレスキュー講座

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-Q-01	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	砂田　絵里	2019年11月19日	もじ少年自然の家内プール	北九州市立もじ少年自然家	13	

2019年度RAC講座一覧

2019-Q-02	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	砂田　絵里	2020/01/29	賀川水系頓田貯水池	北九州市立玄海青年の家	6	
2019-Q-03	玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体	内村　政彦	2019/11/17	紫川	北九州市 水環境館	4	
						23	

□　RACトレーナー研修会

講座認定番号	主催団体	実施担当者	実施日	実施河川	実施場所	登録人数	備考
2019-R-01	NPO法人川に学ぶ体験活動協議会	大井里美	令和元年5月26日～28日		国立オリンピック記念青少年総合センター	5	
						5	

令和元年度　活動計算書（案）

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

特定非営利活動法人　川に学ぶ体験活動協議会

（単位：円）

科　　目	予　算　額 （A）	決　算　額 （B）	増　減 （B）−（A）	備　考
Ⅰ　経常収益				
1 受取会費等	1,400,000	1,725,000	325,000	
①受取会費	1,100,000	1,725,000	625,000	
②受取寄付金	300,000	0	△ 300,000	
2 講習会等事業収益	4,900,000	2,408,843	△ 2,491,157	
①登録手数料・講習テキスト関連	300,000	709,500	409,500	
②講習会受講料	400,000	0	△ 400,000	
③川に学ぶ全国大会	200,000	0	△ 200,000	
④講師派遣	4,000,000	1,699,343	△ 2,300,657	
3 調査研究事業収益	26,800,000	15,105,370	△ 11,694,630	
①調査研究業務	3,000,000	6,270,000	3,270,000	
②指導者養成等講座運営	23,000,000	8,104,354	△ 14,895,646	
③防災キャンプ関連	800,000	731,016	△ 68,984	
4 助成事業収益	2,000,000	600,000	△ 1,400,000	
①河川基金関連	1,600,000	600,000	△ 1,000,000	
②その他関連	400,000	0	△ 400,000	
5 グッズ等著作事業収益	5,600,000	2,869,887	△ 2,730,113	
①グッズ販売	3,000,000	1,257,548	△ 1,742,452	
②グッズレンタル	2,400,000	1,612,339	△ 787,661	
③川育認定	100,000	0	△ 100,000	
④資機材点検	100,000	0	△ 100,000	
6 その他	0	0	0	
①日本水大賞　他	0	0		
②その他関連事業	0			
経常収益計	40,700,000	22,709,100	△ 17,990,900	
Ⅱ　経常費用			0	
1 指導者養成関連事業費	26,550,000	9,432,677	△ 17,117,323	
1）講習会事業費	2,910,000	1,690,635	△ 1,219,365	
①登録関連・講習テキスト関連費	650,000	441,772	△ 208,228	
②講習会関連費	30,000	253,460	223,460	
③RAC・OJT事業関連費	30,000	0	△ 30,000	
④川に学ぶ全国大会関連費	200,000	245,882	45,882	
⑤講師派遣関連費	2,000,000	749,521	△ 1,250,479	
2）自主事業費	1,910,000	1,315,558	△ 594,442	
①広報宣伝費	30,000	56,659	26,659	
②「水辺のひやりはっと」検証・普及啓発費	50,000	0	△ 50,000	
③「川育」プロジェクト関連費	30,000	0	△ 30,000	
④防災教育プログラム収集・発信関連費	50,000	0	△ 50,000	
⑤川の流れ体験キャンペーン	50,000	119,340	69,340	
⑥日本水大賞関連費	1,700,000	1,139,559	△ 560,441	
3）調査研究事業費	21,730,000	6,426,484	△ 15,303,516	
①調査研究業務費	1,700,000	1,957,553	257,553	
②指導者養成等講座運営事業費	19,730,000	4,330,853	△ 15,399,147	
③防災キャンプ事業費	300,000	138,078	△ 161,922	
2 助成関連支出	2,500,000	1,217,286	△ 1,282,714	
①河川基金関連	2,000,000	1,084,237	△ 915,763	
②その他関連事業	500,000	133,049	△ 366,951	
3 グッズ等著作製作・管理費	4,020,000	3,194,257	△ 825,743	
①グッズ販売関連費	2,200,000	1,389,164	△ 810,836	
②グッズレンタル関連費	1,800,000	1,801,800	1,800	
③川育認定関連費	20,000	0	△ 20,000	
④資機材点検費	0	3,293		
4 管理費	7,460,000	6,235,930	△ 1,224,070	
①人件費	2,000,000	2,793,632	793,632	
②賃貸料	880,000	961,200	81,200	
③管理諸費	1,700,000	1,888,838	188,838	
④消費税等	2,800,000	537,050	△ 2,262,950	
⑤貸倒引当金	0	0	0	
⑥雑費	80,000	55,210	△ 24,790	
経常費用計	40,530,000	20,080,150	△ 20,449,850	
			0	
当期経常増減額	170,000	2,628,950	2,458,950	
Ⅲ　経常外収益			0	
受取利息	1,000	88		
雑収益	0	292,904		

貸倒引当金戻入	0	0	0	
経常外収益計	0	292,992	292,992	
Ⅳ　経常外費用			0	
退職給付費用	100,000	100,000	0	
雑損失		416,000		
経常外費用計	100,000	516,000	416,000	
税引前当期正味財産増減額	70,000	2,405,942	2,335,942	
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0	
当期収支計	0	2,335,942	2,335,942	
前期繰越正味財産額	12,908,561	12,908,561	0	
次期繰越正味財産額	12,908,561	15,244,503	2,335,942	

財　　産　　目　　録

令和2年3月31日　現在
特定非営利活動法人　川に学ぶ体験活動協議会
（単位　：　円）

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金・預金			
	小口現金	手元保管		0
	普通預金	楽天銀行	支払口座として	635,642
		ゆうちょ銀行（当座預金）	年会費口	27,190
		ジャパンネット銀行	ネットショップ入金管理用	1,173,786
		ジャパンネット銀行	指導者登録料等入金管理用	1,784,024
		三菱東京UFJ銀行新富町支店①	（利用休止中）	35,662
		三菱東京UFJ銀行新富町支店③	（利用休止中）	900
		ゆうちょ銀行（普通預金）	支払口座として	2,176,805
		住信SBI銀行		2,588,016
			現金・預金計	8,422,025
	未　収　入　金			
		河川財団/指導者養成		3,300,000
		RAC年会費/令和元年度		300,000
		河川財団/調査及び説明会		1,570,000
		河川基金/令和元年度分精算払		600,000
		東洋建設株式会社/Eボートレース運営		115,600
				0
			未収金計	5,885,600
	棚　卸　商　品			4,228,155
	立　　替　　金			104,406
	前　払　費　用		前払家賃、PL保険	124,168
	仮　払　金			51,499
流動資産計				18,815,853
（固定資産）				
特定資産	調査研究基金預金	普通預金 （三菱東京UFJ銀行新富町支店）	調査研究資金として	2,000,726
	退職給与引当預金	普通預金 （三菱東京UFJ銀行新富町支店）	職員の退職給付金として	1,305,537
			特定資産計	3,306,263
その他の資産	什　器　備　品			5
	敷金			0
			その他の資産計	5
固定資産計				3,306,268
資産合計				22,122,121
（流動負債）				
	未払金	ヤマト運輸/3月		4,840
		佐川急便/3月		16,456
		ヤマト運輸/2月		668
		クリアウォーター/Eボート5艇分仕入代金		3,343,120
		0		0
		0		0
			未払金計	3,365,084
	未払法人税等			70,000
	未払消費税			536,000
	預り金		源泉所得税	686,234
	借受金			0
	前受金			720,000
流動負債計				5,377,318
（固定負債）				
	退職給与引当預金		職員の退職給与の引当として	1,500,000
固定負債合計				1,500,000
負債合計				6,877,318
差引正味財産				15,244,803

貸　借　対　照　表

令和2年3月31日　現在
特定非営利活動法人　川に学ぶ体験活動協議会
（単位　：　円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	8,422,025	7,950,513	471,512
未収入金	5,885,600	1,471,775	4,413,825
棚卸商品	4,228,155	451,618	3,776,537
立替金	104,406	0	104,406
前払費用	124,168	209,020	△ 84,852
仮払金	51,499	17,869	33,630
貸倒引当金	0	0	0
流動資産計	18,815,853	10,100,795	8,715,058
2 固定資産			
特定資産			
調査研究基金預金	2,000,726	2,000,000	726
退職給与引当預金	1,305,537	1,200,000	105,537
特定資産計	3,306,263	3,200,000	106,263
その他の資産			
什器備品	5	5,404	△ 5,399
敷金	0	0	0
その他の資産計	5	5,404	△ 5,399
固定資産計	3,306,268	3,205,404	100,864
資産合計	22,122,121	13,306,199	8,815,922
Ⅱ負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,365,084	2,983,371	381,713
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	536,000	490,000	46,000
預り金	686,234	145,201	541,033
借受金	0	39,480	△ 39,480
前受金	720,000	203,046	516,954
未成事業受入金	0	0	0
流動負債合計	5,377,318	3,931,098	1,446,220
2 固定負債			
退職給与引当金	1,500,000	1,200,000	300,000
固定負債合計	1,500,000	1,200,000	300,000
負債合計	6,877,318	5,131,098	1,746,220
Ⅲ正味財産の部			
一般正味財産	15,244,803	8,175,101	7,069,702
負債及び正味財産合計	22,122,121	13,306,199	8,815,922

特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会
代表理事　久住時男　殿

平成31年度/令和元年度　監査報告書

平成31年4月1日より令和2年3月31日までの会計事業年度における特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会の計算書（財産目録・貸借対照表・収支計算書及びこの計算書作成の過程で作成される、仕訳帳・勘定元帳並びにそれらの根拠たる証憑類）を監査した結果、いずれも特定非営利活動促進法第5条及び第27条に則りまた公益会計基準に準拠して適切に処理され作成されていると認めます。

また、業務の執行についても適切に行われていると認めます。

以上

令和2年　5月21日

監事　吉野英夫

佐藤ともえ